

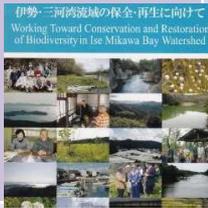


未来創造プログラムの展開と展望



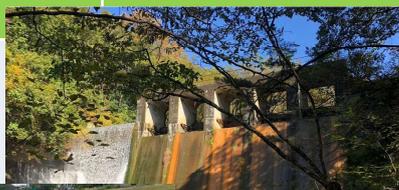
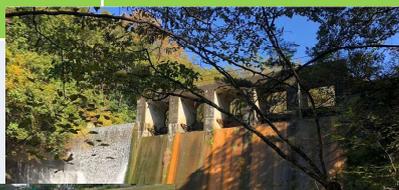
地域の未来・支援センターと、未来創造プログラムのあゆみ

年度	地域の未来 ・支援センターのあゆみ	川や海での展開	山・森での展開
1980～1990年代	1980 中部リサイクル運動市民の会（中リ）発足 (2000.NPOへ) 1993. ソムニード 設立 竹内ゆみ子 氏 / 国際支援 ■2000.より 高山で活動開始 ■2013.より ムラノミライ へ	1980.8月 長野県下諏訪町(湖浄連) 諏訪湖浄化対策連絡協議会 設立 1981. 藤前干潟埋立計画発表 ～ 干潟埋立反対運動展開される 1990. 国際的な海ごみ調査 ICC (国際海岸CleanUp) 契機に JEAN 設立 1994.7月 豊田市矢作川研究所 設立	1976～ 曾我部行子氏 瀬戸に暮らす 1990. ものみ山自然観察会 発足 ～ その後、海上の森での愛知万博 計画が発表され反対運動が起きる 1995.12月 2005愛知万博閣議了解
1992. 6月	リオ地球サミット1992 国連環境開発会議「リオ」宣言 / アジェンダ21採択 生物多様性条約など提起		
1995.1.17	兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災） / 死者行方不明者 6,400名以上		災害ボランティア活動が目目される
1997. 6月	河川法改正 / 河川環境の保全と創出を目的に追加 ■1999.河川審議会「パートナーシップによる河川管理」提言		1997.6月 BIE にて愛知万博 決定 ～ 会場問題が残る(海上縮小へ)
1997～1999		1998.7月 第1回「川の日」WS 開催 人と川の新时代へ 1999. 1月 名古屋市が藤前干潟埋立を断念 ～2月「ごみ非常事態」宣言	1999-2000 市民参加型【海上の森】 「市民からの環境アセスメント」を実施（ものみ山自然観察会）
1999.12月	NPO法（特定非営利活動促進法）の施行		
2000	2000.9月 東海豪雨襲来 / 愛知県に甚大な被害及ぼす * 矢作川上流域で土砂崩れ、大量の流木が矢作ダムに流入する		2000.5～12月 愛知万博検討会議 開催（全13回） 谷岡郁子 委員長 / 長久手主会場、瀬戸会場大幅縮小 「環境万博」「市民万博」提案 2000. 海上の森～藤前「万歩く」 だれでもばんぱく協会 設立 2002.～「EcoStock on 水辺」開催 2003.7月、「川の日」WS でGP 受賞 2004. 海上の森の会 設立
2000～2004		2001.5月. 第1回 矢作川「川会議」開催 7月. 第4回「川の日」WS GP 受賞 2003.3.18 愛知・川の会 設立 2003.8月～ JEAN「海ごみサミット」スタート（～2016.第14回まで） 2004.10月～ 藤前干潟クリーン大作戦	
2004	2004.12月 地域の未来・支援センター 設立総会	2004.9月 台風21号による三重県・宮川等災害 ～各地に甚大な被害及ぼす / 特に宮川で大規模な山地崩壊、伊勢湾に大量の流木が流出する	
2005. 3月～9月	愛知万博開催（瀬戸・長久手） 「自然の叡智」テーマ	2005.7月 第8回「川の日」WS in 矢作川を開催（豊田市） / 海上の森などでエクスカージョンも展開	
2005～2007	2005.4月 地域の未来 NPOへ ■ 大学生インターン 受入れ（2005～2017年度）、 2050年担い手塾（2007～2009）など人材育成 取組む ■ 地域づくり支援 の展開	2007.8月 水シンポジウムあいち 開催 太田猛彦、保屋野初子、阿部夏丸ら / 愛知県主催 愛知・川の会 実行委	2005～2014 矢作川 森の健康診断 矢森協 丹羽健司、蔵治光一郎ら 2006. あいち海上の森条例 制定 あいち海上の森センター 開館
2008		2009.2月～ 全4期調査【環境省事業】 第10回生物多様性条約締約国会議（愛知・名古屋）に向けた 伊勢湾流域圏活動調査をJFB展開～ 2011/72団体 2010年度. 開発系NGO調査 名古屋NGOセンターと共に / 2024.8.11(高山) 竹内ゆみ子など (4期調査) 2011.1.24 神田浩史など	2008.4.19 生物多様性フォーラム (JFB) 設立 / 2010 COP10開催へ
2009～2010	2009～2018 豊森なりわい塾 運営(2019～2022はおいでん・さんそんセンター へ移管) / 塾長; 濫澤寿一 丹羽健司、洲崎燈子ら		CD2010エクスカージョン 展開 2010.2.6 伊勢湾を考える「今は昔」 2010.9.20 河口都市名古屋 2010年度 第4期調査(損斐川流域) は岐阜・野村典博 氏がアテンド
2010.10月 10.11～29	生物多様性条約 第10回締約国会議 愛知・名古屋 (CBD/COP10) 開催 Count Down 2010 Project の推進 / 生物多様性フォーラム (JFB) ホストNGO担う / Nacs-J、WWF Japan、日本野鳥の会などと共に JFB 武者小路公秀、清野聡子、曾我部行子 × 道家哲平、古南幸弘など		10.24 JFB公式エクスカージョン 「河口都市名古屋を考える」藤前等 10.26,27 COP10フォーラム開催 ～生物多様性の担い手づくりへ
2010	COP10 グリーンマップ (生物多様性) プロジェクト	2010.8月 矢作川流域懇談会 設立 2010.11月 愛知・川の会 外来種シンポジウム / 中井克樹、谷口義則 ら	2010.12月 JFB 韓国四大河川IP 視察 / ナクトンガン、韓川、清溪川 2011.2.20 生物多様性流域対話Ⅱ 2011.3月 JFB CD2010 美し国みえ エクスカージョン ～ 伊勢湾へ
2011.3.11		東日本・大震災 大津波が東北地方東海岸を襲う 死者・行方不明者 約23,000人 大量の災害ごみが太平洋へ	

年度	地域の未来 ・支援センターのあゆみ	川や海での展開	山・森での展開
2011	  <small>伊勢・三河両流域の保全・再生に向けて Working Toward Conservation and Restoration of Biodiversity in Ise Mikawa Bay Watershed</small>	2011.8月～ 伊勢湾流域圏5期調査 ／ 矢作川研究所等 矢作川流域 矢作川流域圏懇談会 などについて 自主調査として展開(環境省動向) ／ 吉崎海岸清掃 森一知、下田菜生 2011.12月 海会議みえ 竹内泰介 ／ 答志島漁師 小浦嘉門 からのSOS	2011.3月 COP10 CD2010報告書 発刊 「世界はきっと変えられる」 2011.7.3 JFB解散 総会 2011.7月～2012.5月 東日本大震災視察 2011.11月(金沢) 生物多様性流域対話 中部 2011.12月 JFB 石徹白エクスカージョン 2012.3月 名大 加藤杏奈 ハワイ大へ渡米
2012		2012.4.1 22世紀奈佐の浜プロジェクト (NSP22)委員会 設立／ 小浦嘉門 代表	矢作川流域圏懇談会地域部会 スタート 8月 近藤 は 山部会 へ参加開始
2013	■ S月～ 三ツ松由有子氏 が事務局就任する	2013.5月 愛知・川の会 代表 近藤朗 就任 2013.6月 NSP22 郡上市長良川で流域 エクスカージョン 開始／～3県で展開 * 2014.6月は愛知県 西の浜 で開催	2013. 豊田市 おいでん・さんそん センター 開設／ 鈴木辰吉 山部会にて 山村再生担い手づくり事例集 調査が開始される (～2016年度まで4冊)
2014. 7. 1	水循環基本法 施行		
2014	NPO訪問ヒアリング 開始 2014～2017まで 67団体	2014.10月より NSP22学生交流会 開始 2015.1月 全国川ごみサミット スタート	2014.5月 矢作山部会 in 恵那・上矢作 モンゴル村 での 担い手交流会
2015. 9月	国連総会においてSDGsが採択される アジェンダ2030/2030年まで、又は2025年までの目標		
2015	■ 竹内ゆみ子 理事長就任 2016.2月 情報交流会 渥美半島 ／ 渡邊幸久	2015.8月 全国川ごみネットワーク 設立 2015.8月 全国雨水大会 愛知 開催 ／ 蔵治光一郎、延藤安弘、神谷博 ら	2015.9月 山部会 長野/近自然の森 視察 2015.9月 山・海合同部会 東横豆海岸 2015.12月 山村事例集Ⅲ「天下杉」 取材 2016.1月、2017.4月 「天下杉」 公演
2016	10月 情報交流会 揖斐川 ／ 嘉田由紀子氏 参加	2016.5月 市民の伊勢志摩サミット ～ 伊勢湾イニシアティブ の提言 2016.10月 海ごみサミット④三重会議	2017.1月 山部会 神奈川山北 酒匂川 へ (2017.9月は 天竜川鷺流峡 竹筏下りへ)
2017	5月 市民の伊勢志摩 サミット1周年 (大垣) 9月 情報交流会 三重北勢	2017.11月 海ごみ減らそうフォーラム in 岡崎 ／ JEAN 主催、 川ごみNW NSP22、矢作川流域圏懇談会 の参加	2017.4月 初の 事例集交流会 in 根羽村 2017～ 矢作・流域圏担い手事例集 調査へ転換 (2013～2018; 102団体)
2018～	未来創造プログラム 開始 ／ 学生たちへの活動支援	NSP22 学生部会 をスタートさせる ■ 中流域連携NW構築 に向けての始動	矢作川流域圏懇談会との連携を模索
2018	2019.2月 山川里海情報 交流会(名古屋) ／ 木村尚、 NSP22学生、新玉拓也 ■ 近藤朗が理事に就任 (同時期 川ごみNW理事も)	2018.10月 24時間 朝まで川談義 岡崎 2018.12月 いい川WS北海道・十勝 にて NSP22 準NP受賞/学生部会の活躍 ／ 岐阜大 見屋井、四日市大 浅井 ら	2018. つくラッセル、奏林舎 がスタート 2018.4月 事例集交流会② in 佐久島 2018.8月 懇談会3部合同部会 in 岡崎 2019.1月 NSP22学生部会 石徹白合宿
2019	 2020.2月 山川里海情報 交流会 垂井 ／ 神田浩史 唐澤晋平、下田菜生、 NSP22学生、坂本貴啓	2019.8月 NSP22学生部会 答志島合宿 2019.10月 いい川WS京都・滋賀 にて NSP22 学生部会の活躍 ～中部誘致 ／ 岐阜大、中部大、四日市大 平野 ら 2019.12月 中部流域連携NW 設立 2019.12月 NSP22学生部会 佐久島合宿 ／ 矢作川懇談会 高橋伸夫 ら協力	2019.6月 事例集交流会③ in ぬかた ／ 矢作川流域圏懇談会10年誌PT 始動 洲崎燈子、近藤、高橋伸夫、 浜口美穂、中田慎 ら 2019.7月 丹羽健司 百経 開設 2020.2月 懇談会10年誌 パイロット版 発刊
2020. 4月～	新型コロナ緊急事態宣言 以降行動制限措置が断続的発令		
2020～ コロナ禍	2020～ 中部流域NW連携 ／ 流域連携NW事務局 担う ■ コロナ禍での展開模索 ■ 矢作川流域圏懇談会と の連携を模索、参加	2020.9～12月 NSP22学生伊勢湾取材 ／ 小浦、鳥羽市長、下田 ら～動画作成 2020.12月 中部流域連携NW+NSP22 ゆく川 くる川 川談義 全国 web配信 ／ NSP22「僕達には仲間が必要です」 世代継承じゃない！一緒にやるんです	2020.7月 山部会 ぬかた へ 三ツ松 初参加 2020.7.22 10年誌座談会 ／ 名畑恵+PT 2020.10月 山部会 恵那・岩村 百経 開催 2020.12月 矢作川流域圏懇談会10年誌 矢作川がつなく人びと、未来へのキセキ 発刊される ～ 奇跡の10年誌
2021	2021～ 森と子ども未来 会議 伴走支援 ／ 学童保育木造化P 2021～2022 山間地域循 環共生調査 (丹生川地域) ローカルDSGs 高山市・ 丹生川地区 (9回開催)	2021.7月 矢作 公開講座 初開催(豊田市) プラスチック汚染 問題／ 千葉賢+学生 2021.8月 矢作 ミライ会議 開始 2021.10月 いい川WS中部・長良川大会 ～ NSP22学生たちが水リレー 展開 「継ぎ長良」～ つぎながら	2021.7月 豊森なりわい塾 ／ 近藤朗 登壇 「川と森のつながり」 洲崎、濑澤寿一 2021.11月 山部会 足助に 米田紗歩 初参加 2022.2月 根羽村インターン合宿 初開催 2022.3月 流域圏担い手づくり事例集Ⅲ 「学童保育木造化プロジェクト」 発刊
2022	2022.7月 高山・森づくり 研修合宿 ／ 長瀬土建 協力 ～ 2023も実施	2022.5月 中部流域連携NW+NSP22 天竜川まるごとエクスカージョン 2022.9月 いい川WS関東・東京大会 参加	2022.5月 豊森なりわい塾 終了 (2019～ おいでん・さんそんセンターが運営) 後継として2023.4.1 に 山里ひとなる塾 が設立 (運営; おいでん・さんそん)

年度	地域の未来 ・支援センターのあゆみ	川や海での展開	山・森での展開
2022	<p>2022.10月 きれいな水と命を守る全国集会@揖斐川流域 (垂井町) 支援 / 辻谷貴文、神田浩史 ら ■NSP22学生合宿と中継</p> <p>2023.2月 東海地区 市民活動C スタッフ交流会 (七番) まちの縁側 名畑恵 / NPO・自治会の連携</p> <p>2022年度をもって セブンイレブン記念財団助成の打ち切り</p>	<p>2022.10月 NSP22 答志島海岸清掃⑩ & 学生合宿Ⅰ 初開催 / 3年ぶり清掃 森里海を結ぶフォーラム 同時開催</p> <p>2022.11月 第1回中部のいい川WS in 天竜川流域 開催 (長野県宮田村)</p> <p>2022.11.21 野村典博 氏 逝去</p> <p>2022.12月 鳥羽市SDGs 観光 取材 / 戸田家など×積水化学労組+NSP22 ~ 企業連携などを模索して行く</p> <p>2023.2月 みなと総研・榎並氏と打合せ / 伊勢湾再生海域検討会等と連携検討</p> <p>2023.3月 河川文化を語る会×NSP22 NSP22の軌跡と展望 / 小浦、千葉賢 ■各県代表は学生部会OBに任せる! / 見屋井、今井和樹、下田菜生 ら</p>	<p>2022.8月 根羽村 森のミライ合宿Ⅰ 開催 / 根羽村森林組合 今村豊、小野隆治、山本徹、英介、他 幸山明良、杉山泰彦 岐大、名城大の他、信大学生達も合流</p> <p>2022.11月 矢作山部会 足助 / 自給家族 鈴木辰吉 ■信大学生たちの参加</p> <p>2023.1月 濫澤寿一 講演会・交流会 「SDGsのいいところではダメだ」</p> <p>2023.2月 矢作・全体会議 / 蔵治光一郎 「流水は流域全体の問題である」</p> <p>2023.3月 流域圏担い手づくり事例集Ⅳ 「都市の木質化プロジェクト」発刊 / 錦二丁目 名畑恵 ら取材 取材に筒井千遥、信大学生らが参加 近藤「都市のいいところをやめよう」</p>
2023	<p>2023年度より 三ツ松由有子 氏は 中リ事務局に就任</p> <p>2023.5月 浜松 フェアトレードマーケット へ / 河合良太、下澤嶽 × 三ツ松、浜口、近藤</p>	<p>2023.6月 NSP22 第25回日本水大賞・市民活動賞を受賞 / 下田菜生 も参加 「5年後に私が大賞をとってやる!」</p> <p>2023.8月 韓国 川の日大会 (益山市) / プレゼン NSP22 今井和樹</p> <p>2023.9月 いい川WS 東北・仙台大会</p> <p>2023.10月 NSP22 答志島海岸清掃⑩ & 学生合宿Ⅱ 開催 / 近藤「ここで見る惨状は、決して他人事ではない!」</p> <p>2024.1月 第2回中部のいい川WS in 矢作川流域圏 開催 (豊田市能楽堂) ~ 流域治水と言う勿れ ~ / 萱場祐一、青木伸一、新玉拓也 筒井千遥「それまでは他人事でした。これからは自分ごとになります!」</p> <p>2024.2月 矢作 公開講座Ⅳ (豊田市) 川がつなく私たちの未来 富山和子論 / 神田浩史、松沢孝晋、洲崎燈子 ら</p> <p>2024.3月 流域圏担い手づくり事例集Ⅴ 「伊勢湾・三河湾の豊かさ」発刊</p>	<p>2023.4.1 山里ひとなる塾 戸田友介 塾長</p> <p>2023.5月 わたしと海上の森をめぐる30年誌 発刊 / 曾我部行子、増田理子</p> <p>2023.5月 事例集交流会④ in 豊田 旭 / 「森と子ども」「都市木」名畑恵 ら</p> <p>2023.7月 矢作川4森林組合合同の 矢作川流域現場森林技能者交流研修会 / 信州大学 川崎海斗 も参加 記録「森の人をつなぐ」2024.2月発刊</p> <p>2023.9月 根羽村 森のミライ合宿Ⅱ 開催 / 根羽森林組合 小野隆治、山本英介、他 西川彩花、根羽役場・村民たち 信大 渡邊美里、牧野純怜、佐竹寅次郎、川崎海斗、人間環境大学生 初参加 江口先生、東海林修、筒井千遥 ら</p> <p>2023.11月 矢作川×多摩川源流交流会 / 奥多摩湖、山梨県まで 神谷博、竹内えり子、山田、佐山公一、洲崎燈子、清水、星剛介、中田慎 ら</p> <p>2023.12月 JICE 鶴田舞 来県・矢作川へ</p>
2024		<p>2024.6.2 野村典博氏を偲ぶ会 (岐阜)</p> <p>2024.6月 第26回 日本水大賞・環境大臣賞を豊田市矢作川研究所 が受賞</p> <p>2024.7月 事例集交流会⑤ in 鳥羽・答志 / 中村欣一郎 鳥羽市長 参加</p> <p>2024.8月 NSP22×積水化学労組組合員 答志島奈佐の浜海岸清掃 本格実施</p>	<p>2024.5.31 矢作山部会 旭 / 水循環政策</p> <p>2024.6.1 矢森協20周年シンポジウム / 東海豪雨から始まった市民の森づくり</p> <p>2024.7月 矢作山部会 恵那 / 百経にて 高橋啓、川崎海斗、信大 渡邊美里 ら 近藤「懇談会の根拠恒例は河川法でなく、水循環基本法なのではないか!」</p>
2024. 8月	<p>水循環基本計画に「流域総合水管理」が位置付けられる ~全国109水系で計画策定へ ■2024.4.2 水循環政策本部会合にて岸田総理から「流域治水から流域総合水管理への進化」指示される</p>		
2024.9月~	<p>2024.9月~ 中リよりNSP22 及び 全国川ごみNW へ JICA研修の協力依頼</p> <p>2025.1.24 JICA研修 (名駅)川ごみNW 金子博</p> <p>中リ、循環フェス名古屋 (2025.4月) に向け準備 実行委員会 学生と共に</p>	<p>2024.10月 NSP22 答志島海岸清掃⑩ & 学生合宿Ⅲ 開催 / 伊勢湾3県広域 計画 八千代エンジニア 吉田拓司、後藤里花、テレビ愛知、長野県諏訪湖 小口智徳</p> <p>2024.12.3 長良西小×NSP22交流会</p> <p>2024.12.4 JICA研修【廃棄物管理】 (戸田家) NSP22 千葉賢、近藤朗</p> <p>2024.12.17 矢作 公開講座Ⅴ (名大) 流域総合水管理 / 蔵治、萱場、森 ら</p> <p>2025.2月 第3回中部のいい川WS in 伊勢湾流域圏 開催 (四日市市楠) ~ 伊勢湾から見た私たちの流域 ~ / 中村晋一郎、森誠一、新玉拓也 「海(伊勢湾)から全てが繋がる流域」</p>	<p>2024.9月 根羽村 森のミライ合宿Ⅲ 開催 / 大久保憲一 村長を囲んで、 幸山明良 山地酪農、飯田市 へ</p> <p>2024.9月 矢作山部会 根羽 / 長瀬土建、ふじくぼ林産 斎藤慎吾 ら参加</p> <p>2024.11月 多摩川×矢作川交流セミナー</p> <p>2025.2月 矢作山部会 ぬかた / 流域圏大学の構築に向けて</p> <p>2025.2月 旭・足助 森のミライ合宿Ⅳ / しきしまの家 鈴木辰吉 関係自治 人口減少と向き合い 関係人口 の構築</p>
2025. 2月~ 2025.6.27	<p>「流域総合水管理のあり方」検討会 / 国土審議会 (水開発分科会) ×社会資本整備審議会 (河川分科会) 2025.6.27 「流域総合水管理のあり方」答申される</p>		
2025. 3.13	<p>水循環フォローアップ委員会・水制度議連合同研究会 「流域総合水管理」 ~ 想像を絶する覚悟と努力が必要</p>		



年月日	イベント	
<p>2024.1月～</p>  <p>流域圏担い手づくり事例集V 伊勢湾・三河湾の豊かさを考える</p>	<p>流域圏担い手づくり事例集V 本格的取材始動「伊勢湾・三河湾の豊かさを考える」</p> <p>1.24 鳥羽市水産研究所 岩尾豊紀×小浦嘉門 2.28 鳥羽市環境課・観光課(市長)×積水労組 3.9 名城大 鈴木輝明×中電 豊かな伊勢湾意見交換会 3.15 愛知県水産課 松村貴晴×青木伸一 3.21 三重県水研 岡田誠、愛知県水試 石田俊朗 3.23 伊勢市にて パスコ 米田紗歩×近藤朗 3.24 海の博物館 平賀大蔵×信大生5人、米田、平野 3.31 (岐阜市内) シンポジウム 海と川 富樫幸一 平賀大蔵、平工顕太郎×中村欣一郎、水崎貴久彦 4.11 佐久島振興課 三矢由紀子、OMM内藤美和 4.19～20 (鳥羽市) 鳥羽市役所、中村屋旅館、島の旅社(海女)濱口幸子さん×湖浄蓮 小口智徳、清水雅子、星剛介、榎並万里子、三ツ松、浜口ら</p>	
<p>2024.3月</p>	<p>蔵治光一郎 編「長良川のアユと河口堰」 発刊</p>	
<p>2024.7.6 ～7.7 鳥羽へ 伝説の事例集 伝説の交流会</p>	<p>矢作川流域圏懇談会担い手づくり事例集V「伊勢湾・三河湾の豊かさ」交流会 in 鳥羽 鳥羽市立海の博物館～答志島へ NSP22 小浦嘉門 蔵治光一郎、青木伸一、洲崎燈子、鈴木建一 鳥羽市中村欣一郎、平賀大蔵、北橋亜由那、NSP22 米田紗歩、筒井千遥、三重県水産研 岡田誠</p>	
<p>2024.9.1～2</p> 	<p>第3回 林業のミライ合宿 in 根羽村 「何故、地域材を使うのが良いことなのか？」 根羽村長 大久保憲一、山地酪農 幸山明良 新井建築工房「伊那谷の森で家を」 新井優 (飯田市) シードルバーンにて 根羽村森林組合 山本英介、建築家 東海林修父子 信州大学 渡邊美里、牧野純伶、佐竹寅次郎 林野庁 川野純也、人環大 江口則和、鈴木建一、大嶋夫妻、三ツ松、近藤 全12名 台風10号接近の中</p>	
<p>2024.10.12～13</p>	<p>NSP22 答志島合宿&第12回奈佐の浜海岸清掃</p>	
<p>2025.2.15～16</p> 	<p>第4回 森のミライ合宿 in 豊田市 旭・足助 「これからの山の暮らし～人口減少と向き合う」 自給家族/しきしまの家 鈴木辰吉、猟師・清水潤子、山本薫久、人環大 江口則和+学生たち、信州大 渡邊美里、牧野純伶、佐竹寅次郎、石原龍太、洲崎燈子、近藤、三ツ松、林野庁 川野純也、建築家 東海林修父子、大嶋夫妻</p>	
<p>2025.4.19</p>	<p>循環フェス 名古屋(栄) 中部リサイクル運動市民の会×学生たち</p>	
<p>2025.5.18</p>	<p>ブラアイチ in せと 海上の森の「きわ」 / 矢田川・山口川、山口堰堤 #東海湖のきわ #東海丘陵要素 ■愛知・川の会；山口川～かつての水利利用と瀬戸の産業 ■愛知県砂防課、砂防ボランティア協会 ；山口堰堤～多目的ダムのパイオニア</p>	
<p>2025.5.23 ～5.24</p>	<p>愛知・川の会 総会・記念講演会 龍川水系エクスカージョン 人環大 中西みずず、渡邊 米田紗歩</p>	
<p>2025.6.1</p> 	<p>未来創造プログラム 海上の森の未来 スタディツアー ～学生たちに向けて / 海上の森モニ1000 曾我部行子、松沢孝晋</p>	
<p>2025.9.2</p>	<p>全国川ごみネットワーク 全世代リレーミーティング(全3回予定) 第1回 伊勢湾から / 新玉拓也、三ツ松由有子</p>	
<p>2025.9.14～15</p>	<p>第5回 森のミライ合宿 in 天龍村 ～祭りが繋ぐ～</p>	<p>【絶賛募集中】</p>
<p>2025.10.11～12</p>	<p>NSP22 答志島合宿&第13回奈佐の浜海岸清掃</p>	<p>【絶賛募集中】</p>

ミライ合宿 2025

in 天龍村

- ・循環型農業について知り伝統野菜の味を知る
 - ・受け継がれてきた伝統文化の祭、舞について学ぶ
- この2つをテーマに2日間活動します！

農業に興味がある、中山間地の暮らしについて知りたい、
なんか面白そう、などなど少しでも興味のある方大歓迎！！



天竜川



伝統芸能の神楽舞祭



循環型農業

日程

2025年9月14日(日)～9月15日(月)

宿泊

天龍村向方地区おためし住宅(予定)
長野県下伊那郡天龍村神原3929番地1

参加申し込みはこちらから
お願いします。

場所

長野県天龍村

参加費

6000円(予定)《食事4回+保険代》



主催： 22世紀奈佐の浜プロジェクト(中部流域連携ネットワーク)学生部会

共催： 矢作川流域圏懇談会、NPO法人地域の未来・志援センター

※https://www.vill-tenryu.jp/tourism/festival_heritage/festival/okiyomematsuri/



2025 答志島合宿

2025.
10/11±12日

参加費

学生5000円 一般7000円

(※参加者数等により前後します)

場所

三重県高羽市 答志島 他

内容

11日: 漂着ごみについて、釣り体験、散策など

12日: 海岸清掃、交流会など

宿泊場所: 桃取コミュニティセンター(予定)

問い合わせ先

nasanohama@gmail.com



お申し込みはコチラから!



企画・運営: 22世紀奈佐の浜プロジェクト



2025年度
第1回

全国川ごみネットワーク 全世代リレーミーティング みんなで新しい未来を創ろう

～伊勢湾から世代も超えて流域を繋ぎながら～

2025年

9月2日(火) 19:00～20:45 オンライン

いままで8回のオンラインセミナーでの学びを経て、2025年度はより多くの方々、全世代と共に水環境問題全般(プラスチックごみ汚染含め)に取り組んでいくための枠組みを構築したく、リレーミーティングを開催します。今まで参加いただいている皆様の**豊かな経験**と、若い世代などの**柔軟な発想と行動力**が融合することで、大きく時代が変わっていく今、「**新たな未来の創造**」が可能となることを期待しています。

第1回目は、中部・伊勢湾での活動を紹介。海洋ごみ問題を入口として大学生などの**担い手づくりを实践**、あるいは**多世代が協働して展開**する川づくりをリードしている2名にお話しいただき、その目的や手法、意義とは何かなどを議論、共有します。周りの多くの世代の方々にもお声がけください。

話題提供・鼎談 19:00～20:00 (19:00-19:05 開催説明)

スピーカー

新玉拓也さん

(魚と子どものネットワーク 代表)



【プロフィール】

1985年生まれ、三重県亀山市出身。滋賀県立大学環境科学部卒業、名古屋大学大学院環境学研究科博士前期課程修了。在学中の2008年に魚と子どものネットワークを立ち上げる。

スピーカー

三ツ松由有子さん

(地域の未来・志援センター 事務局長)



【プロフィール】

2013年より環境中間支援組織・地域の未来・志援センター勤務。環境団体ヒアリングを行う中で22世紀奈佐の浜プロジェクトと出会い、2018年より担い手づくり・多世代交流事業を実施。

コーディネーター

近藤朗さん (22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会)

みんなで意見交換 20:00～20:40 (20:40～20:45事務連絡等)

※ 以降、第2回目は10月に「山形での取組」、11月に「諏訪湖での取組」をリレー方式で展開していきますので、お楽しみに。

申込
方法

グーグルフォーム(右記QRコード)から。
または、「kawa53@kawagomi.jp」あてに、氏名、所属、連絡先Eメールを記載し、Eメールでお申込ください。



申込フォーム

Zoomを利用します
参加費無料
先着50名



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。



申込
問合せ先

全国川ごみネットワーク

Tel 080-8167-8577

Eメール kawa53@kawagomi.jp